

キリスト教と社会福祉

—他者の痛みへのコンパッション(共感共苦)をめぐって—

講師 木原 活信 (同志社大学社会学部教授)

映画「地の塩 山室軍平」が上映されて以来、キリスト教と社会福祉に少し関心が高まっているようである。そこで、その歴史的背景、思想的背景を紹介しながら、キリスト教と社会福祉の関係について考えるときとしたい。その際、福祉の根本哲学である「他者の痛みへのコンパッション」(共感共苦)について、聖書を参照にしてじっくり議論していきたい。それを踏まえて、できるだけ具体的に事例をとりあげながら福祉援助の実践原理について考えてみたい。

日時 2019年 **2月16日**(土) 15:00~18:00

場所 関西セミナーハウス

※会場への地図は裏面をご覧ください。

京都市左京区一乗寺竹ノ内町23

参加費 一般 2,300円、学生 500円 (コーヒーつき)

*要申込 2月13日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込みください。



木原 活信 きはら かつのぶ

同志社大学社会学部教授。博士(社会福祉学)。専門は福祉思想史・福祉哲学。日本キリスト教社会福祉学会会長。日本社会福祉学会副会長。社会福祉法人京都基督教福祉会、イエス団評議員。主著『J.アダムズの社会福祉実践思想の研究』(川島書店1998、福武直賞)、『社会福祉と人権』(ミネルヴァ書房2014)、『弱さの向こうにあるもの』(いのちのことば社2015)。NHK「こころの時代」、「ラジオ深夜便」などに出演。

◎スケジュール◎

- 13:30～15:00 発題講演
 15:00～15:30 コーヒーブレイク
 15:30～17:30 質疑とはなしあい



2018年度 修学院フォーラム

社 会 第5回 12月 8日(土)

「武器で日本を守れるか？」

講師：岩佐 英夫（弁護士）

第6回 2019年 1月13日(日)～14日(月・祝)

〈エネルギーを考える 第7回〉

「地震国日本で原発は安全であり得るか？
 なぜ再生エネルギーに踏み切れないのか？」

「日本の原発と地震・津波・火山」

講師：竹本 修三（京都大学名誉教授）

「ドイツのエネルギー転換の思想と実践」

講師：木村護朗クリストフ（上智大学外国語学部ドイツ語科教授）

第7回 2019年 1月26日(土)

「キリスト教と政治的課題」（仮）

講師：佐藤 優（作家・元外務省主任分析官）



[申込み・問合せ]

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木 (とき)

【会場へのアクセス】



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

——— 2018年度 修学院フォーラム「福祉」第2回 参加申込書 ———

(フリガナ) 名 前	所 属
住 所 〒	
電話 ()	FAX ()
電子メール:	@
通信欄:	